

No.	質問・意見概要	教育委員会の回答・考え方
1	<p>学校再編は避けて通れない問題だと認識しており、10年間で計画とのことで、準備期間等も適切だと思う。説明では触れられなかったが、どの程度の施設整備を、どの程度の予算規模で行うのか？</p>	<p>この計画案は案の段階であり、積算等にも費用が掛かるため、概算はまだ行っていない。計画が確定次第、進めていきたい。現時点では、全ての学校を新規に整備するのは不可能であるため、開校時は既存施設を有効活用しながら再編し、その後、継続的に資金を投じていきたいと考えている。再編後の学校には、老朽化している施設もあるため、まずは開校に合わせてトイレや教室等を改修し、将来的には、国庫補助による大規模改築等も視野に入れて検討していく。</p>
	<p>目的や意義は理解するが、学校再編のコンセプトは何か？子どもたちが喜んで通える学校にするため、何に重点を置くのか？私は東京など都会に住む子どもたちが、ふるさと留学のような形で来てもらえるような学校があればと常々思っていた。</p>	<p>コンセプトとして表現するのはなかなか難しいが、今回の再編で目指しているのは、子どもたちが集団の中で切磋琢磨できるような環境づくりである。同時に、一定規模の教職員集団が確保でき、教育内容の充実につながると思っている。現在、小規模校では先生1人で学年を担当するような形であり、学校全体で見ても教職員が少ないため、校務等の負担が大きい。これが例えば3学級となれば、学年主任を配置でき、教職員もベテランから若手まで揃えられる可能性が高まる。こうした体制を整えることで効率的な学校運営に繋がり、教育の質も上がるのではないと思われる。最も大事なものは、子どもたちが同年代の中で社会性を身につけられる環境を整えることだと考えている。</p>
	<p>学校再編のメリットについてはよくわかった。デメリットはどのようなものが想定されるか？</p>	<p>(学校教育課長)学校規模が大きくなることによるデメリットについて、校区が広がることで保護者や教職員の負担に繋がる懸念はある。また現状、学校はそれぞれの校区の皆様を支えていただいているため、公民館活動や地域組織の活動に対する影響は不安な部分である。さらに、保護者の意見で多いのは、これまで小規模校で育ってきた子どもが統合後の学校に馴染めるかという点である。この点については、子どもたちもいつかは大きな集団の中で生きていくことになるため、子どもたちに寄り添いながら、それぞれに対応する必要があると考えている。</p> <p>(首席指導官)子どもたちにとって、多様な集団の中で育つ経験は非常に重要であり、学校規模を適正化することが必要不可欠である。現代のグローバル化する社会において、子どもたちが生きる力を身につけるためには、ある程度の規模の集団の中で、時には、ぶつかり合うこともあるかもしれないが、お互いに認め合いながら人間関係を育むといった経験を、適切に積み重ねることが大切である。また、教職員が増えれば、例えば、中には海外との交流などを得意とする職員もおり、多くの先生がいることで、いろんな視点から、子どもたちの学びを広げていくことが可能になる。視察した中には、海外と交流を行っている学校もあり、以前に比べてICTを活用した交流も容易になっている。このようなことも視野に入れて、柳川市の教育環境をより良いものにしたいと考えている。ご理解ご協力をお願いしたい。</p>
2	<p>保護者に対し説明会を行う旨の周知はされているか？</p>	<p>説明会に先立ち、全ての保護者に対して学校を通じて案内を配布している。その後、保護者向け説明会を全校区で行っており、現在は2巡目として地域住民向け説明を行っているところである。</p>